

季刊

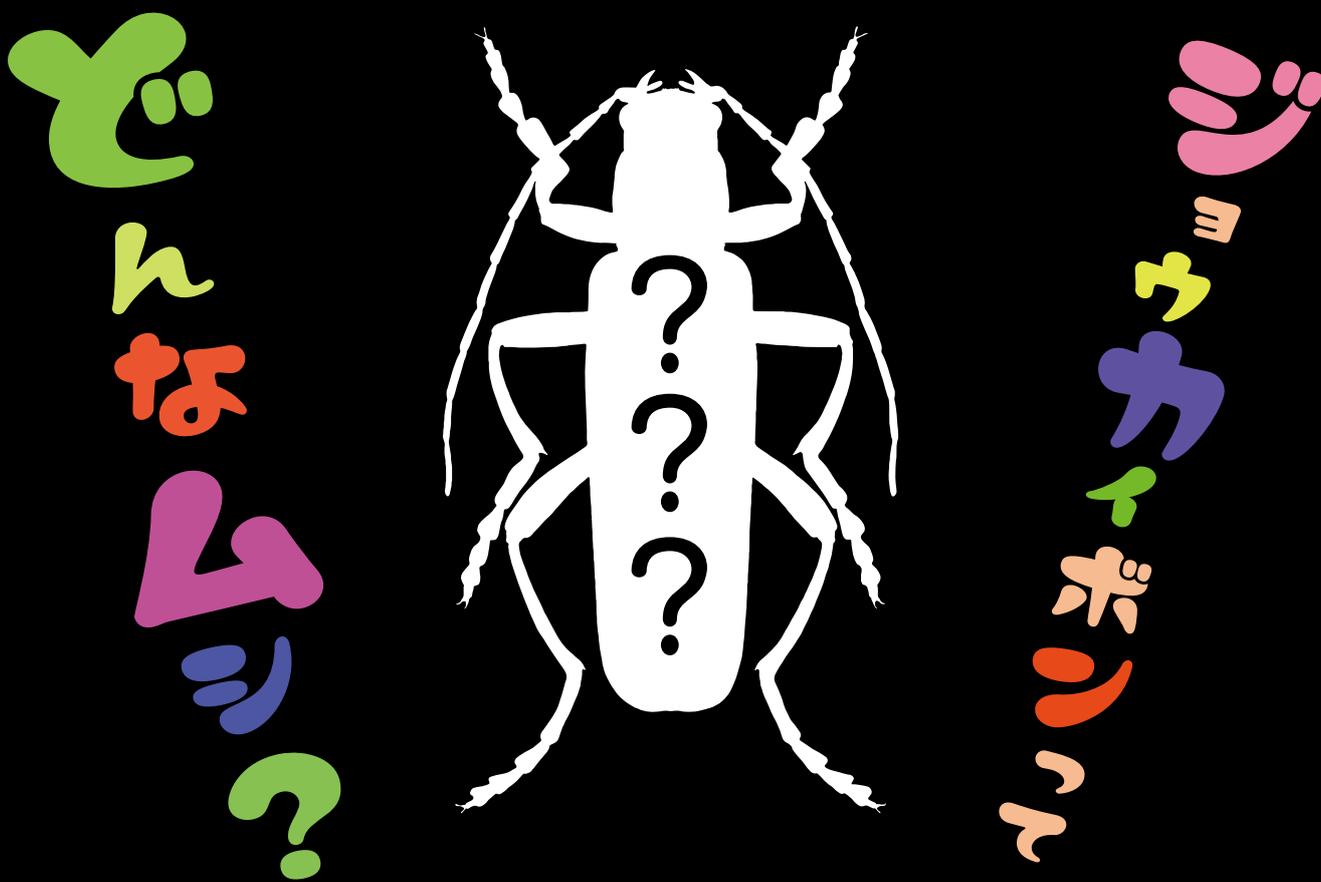
# 湘南自然誌

HIRAOKA Kindergarten Presents

## Vol.31

January 9th 2024

神奈川・湘南  
地域の自然を  
再発見する



## ジョウカイボンって どんなムシ?

特集

日本のジョウカイボン研究の第一人者 高橋和弘博士に伺う。  
特徴と生態/和名の由来/世界の美麗種/知られざる多様性/  
ジョウカイボンの真似をしてる種がいる?

## 湘南のジョウカイボン 全種図鑑

保存版

湘南地域で記録されている全 22 種を収録。  
(高橋和弘博士の解説付き)

園児と自然に触れ合う中から生まれた  
**四季のプログラム**

園児や地域の皆さんからの  
投稿写真を季節毎に掲載  
**湘南発 みんなでつくる!  
生きもの図鑑**

地域の自然の中で遊んで学ぶ  
ひろおかよしえん  
**アクションレポート**

県立愛川ふれあいの村  
吉田文雄学芸員によるコラム  
**心が育つ幼児教育**

遊んで学ぶ生きもの  
こと  
**知育ゲーム**

# 2023 秋

## 自然はみんなのアンダーランド!

# 四季のコラム

ほった よしのすけ  
堀田 佳之介 ● 平岡幼稚園 園長

2023 年秋に平岡幼稚園の園だよりに掲載されたコラムを、一部改変してお届けします。

## 平岡の森のムクノキ老木



平岡の森にはムクノキの老木があります。幹の中心は空洞になっているにもかかわらず、今年も元気にたくさんの実を付けてくれました。この実は熟すと、あんこ?干し柿?のような独特の甘みがあります。ただ、不思議なことに一斉には熟さないで、たくさんの実が付いているにもかかわらず、食べ頃のは毎回ごく少量しか見つかりません。ありつけた子はとてもラッキーです。

ムクノキの魅力は実だけではなく、葉の表面がザラザラしていて、昔は木材を磨くヤスリとして利用されていたそうです。ムクノキの葉で木材を擦ると、まろやかで優しい手触りになるので、今季の平岡の森探検では、多くの子が夢中になって木片をツルツルにして楽しんでいました。子どもでも簡単にできる不思議なマジックです。またこの葉は、紅葉すると鮮やかな黄色に変わるので、集めて楽しんだり、落ち葉を利用したごっこ遊びにも活用されていました。ほかに、ムクノキは古木になると幹に樹洞ができやすいという特徴もあるようです。縦横に空く穴は子どもたちの興味をそそるようで、「なんで穴が開いているの?」と不思議がって、日頃より覗き込んで想像を膨らませて楽しんでいます。

生きものは種類によって様々な特色があります。いろいろな植物とふれあってたくさん魅力を感じて欲しいと思っています。



1 / 平岡の森のムクノキ老木 2 / カレー屋さんごっこ 3 / ムクノキの樹洞に空いた穴  
4 / ムクノキの実を食する園児 5 / ムクノキの葉で木片を削る園児

## 色鮮やかな秋の色さがし

夏の暑さもすっかり落ち着き、すっかり秋らしくなってきました。平岡の森でも色鮮やかな秋の恵みが見つかるようになってきています。

中でもとりわけ目を惹くのが、ノブドウの実です。実の色は同一ではなく、青～紫のグラデーションが見事です（下左写真）。ほかにも、ハナミズキ（朱色）、ノイバラ（赤色）、イヌホオズキ（黒色）、アオツツラフジ（黄緑）、クサギ（青色）、クスノキ（黒色、緑色）、クヌギ（茶色）、ツルウメモドキ（黄色）などの実が見つかりました。また、形がチュロスそっくりなユリの実（緑色）や、イヌタデ（ピンク）、カントウヨメナ（薄紫）、ミズヒキ（赤色）の花、その他色鮮やかに紅葉した落ち葉も子どもたちを楽しませてくれます。

ツリーハウスでは、これらの素材を使ったお店屋さんなどの“ごっこあそび”で、秋の終わりまで盛り上げました。



上／宝石のように輝く秋の実  
左／青～紫のグラデーションが見事なノブドウの実  
下中／ユリの実をチュロスに見立てたチュロス屋さん（ツリーハウスにて）  
下右／秋の色どりを利用したお弁当作り

## 平塚のカマキリ調査始まる！

9月より平塚市博物館とのコラボ企画「みんなでしらべよう！平塚市のカマキリ」が始まりました。すでに園児家庭より、見つけたよ！の写真が続々と集まってきました。

この調査の目的の一つは、市内への侵入が確認されている外来種「ムネアカハラビロカマキリ」を調べることです。ムネアカハラビロカマキリは侵略性が高く、生態系に悪影響を及ぼすことで知られています。特に大きな影響を受けるのが在来種「ハラビロカマキリ」で、秦野市の葛葉緑地ではかつてたくさん見られたハラビロカマキリが激減してしまったそうです。樹上性の両種は生活環境が重なるため、体の小さなハラビロカマキリはムネアカハラビロカマキリの恰好の標的になってしまうようです。

調査は2024年2月末まで続きます。冬季は卵鞘（らんしょう）の調査になります。もしカマキリの卵鞘を見つけたら、ぜひとも写真をお送りいただくと嬉しいです。（写真の送付先はP20参照）



上右・上左／オオカマキリ  
下右／ムネアカハラビロカマキリ  
下左／ハラビロカマキリ



和名の由来

一説によれば、平清盛（浄海坊）が死ぬとき高熱を発したことから、触るとやけどしたようになる虫というので、浄海坊（ジョウカイボン）の名が付けられたとか。実際には、この仲間に毒はない。

日本甲虫学会評議員・ジョウカイボン研究者

高橋 和弘 Takahashi Kazuhiro

1954年生まれ。東北大学卒。農学博士。元神奈川県職員。幼少期より昆虫が好きで、カミキリムシなどを集めていた。県職員として働きながら、1984年頃からジョウカイボンの研究に取り組み、多くの新種を記載。ジョウカイボン科の分類を大きく進めた日本有数の研究者である。現在、神奈川県昆虫談話会世話人も務める。平塚市在住。



著書に『A taxonomic study on the genus *Asiopodabrus* (Coleoptera, Cantharidae) of Japan』(日本昆虫分類学会) などがある。

※ジョウカイボンは、ジョウカイボン科の中の一つですが、グループ全体を「ジョウカイボン」とも呼びます。

皆さんはジョウカイボン※という昆虫のグループをご存じでしょうか？あまり知られていない虫たちですが、豊かな樹林地には多く生息しています。このマイナーな昆虫の研究者は、全国的にも数人しかいません。その中のひとりが、湘南在住の高橋和弘博士です。なんと、日本にいるジョウカイボン科370種のうち、半分以上が先生により発見されたものです。その高橋先生に、ジョウカイボン科の仲間について簡潔に解説していただきました。(編集部)

はじめに



キンイロジョウカイ♂(九州産)  
*Themus episocopalis*



キンイロジョウカイ♂(九州産)



キンイロジョウカイ♂(長野産)

特徴と生態



ジョウカイボン♂(三浦半島産)  
*Lycocerus suturellus*

ジョウカイボンの仲間は、姿はカミキリムシに似ていますが、分類的にはホタルやコメツクムシに近い仲間です。その多くは樹林に生息しており、日本全国では370種、神奈川県では77種、湘南では22種が記録されています。

この仲間の一番の特徴は、上翅(うわばね)が柔らかいことです。甲虫類の多くが、硬い上翅で体を守っていますが、逆に柔らかくしてしまつたというのが面白いところですね。毒があるわけではないのに、鳥などにあまり食べられないので、硬い翅で守る必要がない。おそらく美味しくないのでしょうね。

食性は肉食で、屈強なあごを持っています(写真右上)。小さい種はアブラムシなどを食べています。花に集まって虫を待ち伏せしているのをよく見かけますね。大きな種は、もつと大きな虫をバリバリ食べます。

ライフサイクルは、低標高地だと3月下旬〜4月に成虫が出てきます。そして、5月いっぱいくらいまでには卵を産んでいなくなる。なので、夏にはもうほとんど成虫は見られません。卵は一、二週間て幼虫になります。幼虫は落ち葉の下でトビムシなど小さな土壌動物を食べて過ごし、そのまま冬を越して翌春蛹になります。



世界の美麗種

日本のジョウカイボンの仲間は地味なものが多く、愛好家が増えない一因となっていますが、世界にはこんな美麗な種類もあります。いずれもアオジョウカイの1種で、左から中国雲南省産、ラオス産、中国貴州省産です。

知られざる多様性



ウスイロクビソジョウカイ(左)  
サドクビソジョウカイ(右)

ジョウカイボンの一番の面白さは、一目では分からない多様性です。同じように見えても交尾器を見ると形が違う場合が多々あるのです。交尾器の形が違うということは別種ということになります。研究を進めれば進めるほど、もともと同じ種とされていたものが、実は別の種であるとか分かってきて、当時種数100もいかなかったジョウカイボンの仲間が、今では甲虫類の中の種数※ベストテンに入るほど多様なグループであることが明らかになりました。

※昆虫の中でもっとも多くの種数があるのが甲虫類

アオジョウカイ(左)とフタコブルリハナカミキリ(右)は姿がよく似ています。アオジョウカイは地域によって色が変わるのですが、フタコブルリハナカミキリもその土地のアオジョウカイの色に合わせた体色となっているので、偶然の一致ではないと思われます。不味いせいか鳥が嫌うアオジョウカイに似ていると、自分も食べられづらくなるので、生存に有利になるでしょう。なので、あくまでも人間の推定となりませんが、カミキリ側がジョウカイボンの真似をしている「擬態」と言えるかもしれません。



ジョウカイボンの  
真似をしてる？



湘南で記録のある全22種を収録

# 保存版 湘南のジョウカイボン全種図鑑



「こんなマイナーな虫を特集にして大丈夫？(笑)」と心配しながらも、編集部  
の要望に前向きに応じてくれた高橋先生。

高橋先生の標本コレクションの中から、湘南地域で見られるジョウカイボンの仲間全種をピックアップしてもらい、解説も加えていただきました。

外見から種類を見分けるのが大変難しいジョウカイボンですが、湘南地域に限定すれば、この図鑑を見て絵合わせするだけで、大体の種名は分かるのではないかと思います。

ジョウカイボンの仲間は、一般的な図鑑などにはほとんど掲載されていません。このマイナーな昆虫のことを知ることができるとても貴重なミニ図鑑となりました。

(編集部)

貴重なミニ図鑑

- 1 アオジョウカイ  
体長 14-20 mm。樹林性。5月頃ミズキなどさまざまな花に集まる。湘南地域では、名前ほど青くはなく、黒っぽい個体が多い。(写真は♀)
- 2 ムネアカクロジョウカイ  
体長 8-12 mm。樹林性。5月末から6月に現れ、クリの花などに集まる。湘南地域ではやや少ない。(写真は♂)
- 3 ヒメジョウカイ  
体長 8-13 mm。樹林性・草原性。4月から5月に現れ、林縁の葉上やフジの花などに集まる。湘南地域では非常にまれ。(写真は♂)
- 4 ニセヒメジョウカイ  
体長 8-12 mm。樹林性。4月から5月に現れ、林縁の葉上などにみられる。この色彩のジョウカイの中ではもっとも個体数が多い。(写真は♀)
- 5 ヤトセスジジョウカイ  
体長 8-12 mm。湿地性。4月に谷戸の良好な湿性草原に現れ、イネ科草本の葉上などにみられる。湘南地域が基準産地である。(写真は♀)



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22

※ 実際の大きさは解説欄参照

6 ウスチャジョウカイ

体長 10-15 mm。樹林性。ジョウカイボンの仲間ではもっとも早く3月下旬から現れ、森林内の葉上などにみられる。(写真は♂)

10 ムネアカフトジョウカイ

体長 8-12 mm。草原性・湿地性。早春にやや湿った草地に現れる。湘南地域ではかなり少ない。(写真は♀)

15 サドクビボソジョウカイ

体長 7-9 mm。草原性・湿地性。4月から5月に谷戸の草地などに見られ、ノイバラの株などに集まる。(写真は♀)

20 ウスイロツマキジョウカイ

体長 3-4 mm。樹林性。ひじょうに小さな種で、5月に現れ、林縁の葉裏などにみられる。(写真は♀)

7 ジョウカイボン

体長 14-19 mm。樹林性。大型な種で、林縁の葉上や花に集まる。湘南地域の個体は、伊豆亜種に属する。(写真は♂)

11 ホッケイジョウカイ

体長 6-8 mm。草原性。4月から5月に現れ、湘南地域では、相模川の河川敷にのみみられる。(写真は♂)

16 ニッコウクビボソジョウカイ

体長 7-9 mm。樹林性。4月から5月に林縁の葉上などにみられる。湘南地域では非常に少ない。(写真は♂)

21 ムネミツクロチビジョウカイ

体長 3-4 mm。樹林性。4月に林内の葉裏などにみられる。また、カエデの花にも集まる。この仲間には♂の腹板の形が特徴的で区別できる。(写真は♂)

8 オカベセボシジョウカイ

体長 9-11 mm。草原性。4月から5月に谷戸など林縁の草地にみられ、市街地でもみられることがある。セボシジョウカイとよく似ているが、草地にいるのはほぼ本種のみで区別できる。(写真は♀)

12 ヒガシマルムネジョウカイ

体長 9-13 mm。樹林性。4月から5月に林内に現れる。色の色彩変異が大きく、全体が黄褐色から黒色までさまざまな色の個体がある。(写真は右♂、左♀)

17 ウスイロクビボソジョウカイ

体長 7-10 mm。樹林性。4月から5月に林縁の葉上などにみられる。湘南地域ではもっとも普通な種。(写真は♀)

22 ケブリコバナジョウカイ

体長 5-8 mm。樹林性・草原性。5月から6月に林縁のフスの葉上などにみられる。上翅が短いところが特徴。(写真は♂)

9 セボシジョウカイ

体長 8-12 mm。樹林性。4月から5月に林内の葉上にみられる。(写真は♂)

14 ヒガシチビクビボソジョウカイ

体長 4-6 mm。樹林性。4月から5月に現れ、グミなどの花などに集まる。湘南地域では非常に少ない。(写真は♀)

19 クロツマキジョウカイ

体長 4-6 mm。樹林性。4月から5月に現れ、林内の葉上などにみられる。(写真は♂)



湘南発 みんなでつくる!

# 生きもの図鑑

2023年9月～11月 秋

## どなたでも投稿できます

写真と「撮影年月日」「撮影場所」「発見者」を添えて、下記にてお気軽にお送りください。種名が分からなくてもOKです。

送付先

投稿用メールQRコード  
ikimono@hiraoka-kg.com



過去の記録検索

みんなで作る生きもの図鑑 索引  
湘南自然誌 PDF 版



平岡幼稚園の園児・教職員と、地域の皆さんからの投稿写真を季節毎に掲載する、タイムリーな生きもの図鑑です。

【図鑑の見方：① 場所・② 年月・③ 氏名】

※対象地域は神奈川県です。  
※期間外の写真を掲載することもあります。  
※この図鑑は編集部の責任で作成しています。誤りは判明次第訂正します。  
※同定者名の記載のあるもの以外は編集部(堀田佳之介)が同定しており、性別や年齢は分かる範囲で付記しています。

### コノシメトンボ♂

① 平塚市大原 同定：—  
② 2023年10月下旬 備考：—  
③ 井上日英



### オオアオイトトンボ♂

① 平岡幼稚園内 同定：—  
② 2023年9月上旬 備考：—  
③ 石井れん



### オオアオイトトンボ♀

① 平岡幼稚園内 同定：—  
② 2023年9月上旬 備考：—  
③ 伊藤瀬南



### オオアオイトトンボ♂

① 平岡幼稚園内 同定：—  
② 2023年10月中旬 備考：—  
③ 大谷琉太



### ハグロトンボ幼虫

① 平塚市南金目 同定：—  
② 2023年9月上旬 備考：県RDB要注意種  
③ 平野楓果 (現在は普通に見られる)



ホソミイトトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：県RDB情報不足
- ③ 諸泉恵太



ホソミイトトンボ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：県RDB情報不足
- ③ 増田悠希



アオモンイトトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 武重文也



アオモンイトトンボ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 佐藤玲愛



アオモンイトトンボ♀(♂型)

- ① 平塚市寺田縄 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：—
- ③ 平野楓果



ギンヤンマ♀

- ① 平塚市真田 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



ギンヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 武重文也



ミヤマサナエ♀

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



オニヤンマ幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 山口夏希



コヤマトンボ幼虫

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：県RDB準絶滅危惧
- ③ 平野未悠



ナツアカネ♂

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 伊藤瀬南



ナツアカネ♀

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 長谷川大洋



アキアカネ♂

- ① 藤沢市辻堂 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 坂上歳丞



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 石川瑛葉



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 笠塚大



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 森野陽人



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 伊藤未来琳



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 沼田剛政



アキアカネ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 神藤香桜



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐々木大我



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 石井れん



アキアカネ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 藤井結宇



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 佐藤景



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 大森謙志



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 大谷琉太



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 長谷川大洋



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 有村奏祐



**アキアカネ♀**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 梅村南穂



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年11月上旬 備考：—  
 ③ 橋本颯馬



**アキアカネ♂**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年11月上旬 備考：—  
 ③ 渡邉巴南



**アキアカネ♂**  
 ① 平岡幼稚園内 同定：—  
 ② 2023年11月中旬 備考：—  
 ③ 山口夏希



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 津田瑛翔



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 高野瑞喜



**コノシメトンボ♀**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 林篤秀



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 伊東愛佳



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 中村いと



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 片沼遼也



**コノシメトンボ♀**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 佐々木奏大



**コノシメトンボ♀**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 津田葵依



**コノシメトンボ♂**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 平野楓果



**コノシメトンボ♀**  
 ① 平塚市大原 同定：—  
 ② 2023年10月下旬 備考：—  
 ③ 佐藤景



**マクタテアカネ未熟♀**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年7月下旬 備考：県RDB要注意種  
 ③ 小松望結 期間外



**マクタテアカネ♂**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年11月上旬 備考：県RDB要注意種  
 ③ 巖田結月



**マクタテアカネ♂**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年11月上旬 備考：県RDB要注意種  
 ③ 長塚杏



**マクタテアカネ♂**  
 ① 平塚市土屋 同定：—  
 ② 2023年11月上旬 備考：県RDB要注意種  
 ③ 渡邉巴南



**ウスバキトンボ♀**  
 ① 平岡幼稚園内 同定：—  
 ② 2023年9月中旬 備考：—  
 ③ 大谷琉太



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：－
- ② 2023年10月下旬 備考：－
- ③ 荒川碧



ウスバキトンボ♂

- ① 平塚市大原 同定：－
- ② 2023年10月下旬 備考：－
- ③ 伊藤瀬南



シオカラトンボ♂

- ① 藤沢市打戻 同定：－
- ② 2023年6月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



シオカラトンボ♀

- ① 平塚市土屋 同定：－
- ② 2023年7月下旬 備考：期間外
- ③ 小松稜亮



シオカラトンボ♀

- ① 平塚市南金目 同定：－
- ② 2023年9月上旬 備考：－
- ③ 石川暖



シオカラトンボ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 鈴木萌加



シオカラトンボ♀

- ① 平塚市土屋 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 大森壮馬



オオシオカラトンボ♀

- ① 藤沢市打戻 同定：－
- ② 2023年6月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 寒結希



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 宮森鈴葉



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 大谷琉太



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 鶴田航己



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 田尻灯凛



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 関口瑛士



オオシオカラトンボ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 原優暉



ヒガシキリギリス♀

- ① 秦野市羽根 同定：－
- ② 2023年8月中旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 小松望結 期間外



クビキリギリス♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月上旬 備考：－
- ③ 金森彩葉



クビキリギリス♂幼虫

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月上旬 備考：－
- ③ 田淵海



クビキリギリス♀

- ① 平塚市岡崎 同定：－
- ② 2023年9月下旬 備考：－
- ③ 下田梨々美



クビキリギリス♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年10月上旬 備考：－
- ③ 志田啓悟



クビキリギリス♂

- ① 平塚市南金目 同定：－
- ② 2023年10月中旬 備考：－
- ③ 山本侑樹



クビキリギリス♀

- ① 平塚市大原 同定：－
- ② 2023年10月下旬 備考：－
- ③ 平野楓果



ウスイロササキリス♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：－
- ② 2023年9月中旬 備考：－
- ③ 金森彩葉



セジササキリスモドキ♀

- ① 秦野市曾屋 同定：－
- ② 2023年8月中旬 備考：期間外
- ③ 小松望結



ツコムシ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐藤景



セスジツコムシ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 荒伎助



ヒメグダマキモドキ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 宮森鈴葉



ヒメグダマキモドキ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年11月下旬 備考：—
- ③ 金森彩葉



サトグダマキモドキ

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



エンマコオロギ♂

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 山本侑樹



エンマコオロギ♂

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐々木奏大



エンマコオロギ♀

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 佐野眞碧子



ケラ

- ① 秦野市南矢名 同定：—
- ② 2023年9月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 石川敵大



ケラ

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 鈴木稜大



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 佐藤景



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 中村いと



オンバッタ♂

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 丸山誠史



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 金子遥音



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 根本珠杏那



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 橋本颯馬



オンバッタ♀

- ① 平岡幼稚園内 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 大谷琉太



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 小松颯真



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 庄司光希



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 大木優芽



オンバッタ♂

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 石川裕大



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 山添透椰



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 沼田理玖



オンバッタ♀

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 拝島花弥



**オンパッター♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 落合美優菜



**オンパッター♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 高木柁



**オンパッター♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 勝俣蒼汰



**ツチイナゴ**

- ① 平塚市城所 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



**ツチイナゴ♂**

- ① 小田原市久野 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



**ツチイナゴ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 加藤暲



**ツチイナゴ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 横山さち



**ショウリョウバッタ♀**

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 平野楓果



**ショウリョウバッタ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年9月上旬 備考：—
- ③ 鶴田航己



**ショウリョウバッタモドキ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 中野颯



**ショウリョウバッタモドキ♀**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：県RDB要注意種
- ③ 渡邊耕勇



**トノサマバッタ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



**トノサマバッタ**

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



**トノサマバッタ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 海老澤顕寿



**トノサマバッタ♀**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 石井れん



**トノサマバッタ♀**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



**トノサマバッタ幼虫**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 師大和



**トノサマバッタ幼虫**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 大木優芽



**トノサマバッタ幼虫**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年11月上旬 備考：—
- ③ 門倉あん



**トノサマバッタ**

- ① 平塚市岡崎 同定：—
- ② 2023年10月上旬 備考：—
- ③ 川口紫雲



**イボバッタ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 長谷川大洋



**イボバッタ**

- ① 平塚市大原 同定：—
- ② 2023年10月下旬 備考：—
- ③ 藤井結宇



**ココマキリ♂**

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年9月中旬 備考：—
- ③ 渡邊巴南



**ココマキリ♀**

- ① 平塚市南金目 同定：—
- ② 2023年10月中旬 備考：—
- ③ 山本樹樹